



# さくら

校訓「ほんきで なかよく きまりよく」【学校創立150年・地域に支えられ、がんばる桑っ子】  
 学校教育目標 …「夢に向かい 感性を育む 桑っ子」  
 重点目標…「自ら感じ、考え、行動する子」

## ご家族で温かな冬休みをお過ごしください！

12月23日(土)より冬休みに入ります。お正月や大掃除など冬休みならではの行事や豊かな体験活動を通し、ご家族揃って温かな冬休みを過ごして欲しいと思います。

6年生の教室に、宮野聡子作『きみに ありがとうの おくりもの』(教育画劇発行 2020年7月)の絵本が配架されていました。とても素敵な絵本なので、お話の一部を紹介したいと思います。



【6年教室の絵本】

登場するのは仲良しのこりすさんとくまさんです。

しょくじを しているとき、くまくんが こりすに いいました  
 「ねえ、いつも ありがとう」(中略)  
 「ありがとうって、きっと、うれしいときに いうんだね」

また、こんな場面もあります。

すやすやと、こりすの ねいきが きこえてきました。  
 くまくんは、そっと いいました。  
 「おやすみ。きみの ねがおを みるのが、ぼくは いちばん うれしいんだよ。  
 そばに いてくれて、ありがとう」

「ありがとう」という言葉は、とても温かな響きをもちます。言った側も言われた側もとても幸せになる思いを抱きます。

令和5年を振り返ったとき、様々な教育活動で、多くの保護者や地域の皆様方に応援をいただき、本校の特色を生かした活動を実践することができました。本当にありがとうございました。



【創立150周年式典より】

令和5年11月21日(火)に、桑村小学校創立150周年記念式典・はごろも『夢』講演会を行いました。この式典の挨拶の中で、私は次のような話をしました。

「桑村小学校は、とても温かな学校です。こうした温かな学校は、すぐにはできません。創立150年という長い歴史の中、ここで生活してきた子供たち、教職員、見守ってきた保護者、応援してきた地域の方々が協働で築き上げてきたものなのです。これからもよき伝統を大切に、「幸せな学校」を皆さんとともに築いていきたいと思っています。…」(「挨拶」の一部より)

冬休みは、いろいろな日本の伝統文化に触れる貴重な期間です。多くの子供たちがご家族の皆さんと共に大掃除をしたり、お餅つきをしたり、おせち料理を作ったりすることと思います。この時期ならではの豊かな体験活動をご家族の皆さんと「ありがとう」という感謝の思いをお互いに持ちながら、温かな雰囲気の中でされることを願います。

《保護者、地域の皆様へ》

1年間、本校の教育活動に対して、温かな応援をいただきありがとうございました。

保護者の皆様には、ご家族で温かな冬休みを過ごしていただきたく思います。また、地域の皆様には、この長い休みの間、子供たちを温かく見守っていただきたく願います。

本当にありがとうございました。どうかよいお年をお迎えください。